

笠間市地域おこし協力隊 活動報告

No. 46



「里山都市」笠間を感じる風景(つつじ公園から)



笠間市農業公社ホームページ(<http://www.kasama-agri.jp/>)

プロフィール

やなぎさわ
柳澤

あきら
明

(59歳) 埼玉県より移住

「里山都市」笠間の可能性

地域おこし協力隊として笠間市に移住してから1年が経ちました。住んでみてあらためて思うのは、笠間は里山と都市機能が程良いバランスで融合している豊かな土地であることです。

昨年は、さまざまな活動に参加しながら取り組む課題について考える1年でした。中でも笠間市農業公社ホームページの「農産物・生産者」を紹介するコーナーの取材で、多くの生産者の方を訪問させていただき大変勉強になりました。

その中で「里山都市」笠間の豊かさは、土地の持つ力に加え暮らしている人々の力、いってみれば総合的な「地力」によって支えられていることを実感しました。今年は、笠間の「地力」の向上に少しでもつながるよう、笠間の皆さんの知恵や力をお借りしながら、農業分野で6次産業化(生産・加工・流通販売を一体化した農林業の新たな展開)の試みを具体的に進めていく予定です。今年度も引き続きよろしくお祈りします。

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

ブログやフェイスブックも
ご覧ください

ブログ ▶ <http://ameblo.jp/kasamart-wa/>

Facebook ▶ <https://www.facebook.com/Kasamartowa>

【問い合わせ】まちづくり推進課(内線 538)



「よろしく」を英訳すると?

「〇〇って英語で何ていうの?」とよく友だちや同僚に聞かれます。ほとんどの場合は答えられるのですが、どのように訳したら良いか分からず、困る時もあります。

よくあるのは、日本人の中では共通認識があっても、外国人や英語圏の人にはあまりなじみがないというケースです。例えば日本食。お好み焼きを知らない日本人はいないでしょう。しかし、英語に訳すとすると、「Japanese pancake」(日本風のホットケーキ)になってしまいます。なぜなら、お好み焼きは英語圏の国では食べられていないので、適当な言葉がないからです。

私が聞かれるのは、「もの」に関する質問ではありません。一番多いのは「よろしくお祈りしますって英語で何ていうの?」です。英語にはない表現なので、この言葉は訳しにくいと一般的に考えられています。しかし、私はこの表現が訳しにくい理由は、英語で伝えられないからではなく、伝え方・言い方が場面によって変わるからだろうと思います。

初対面の「よろしくお祈りします」「田中さんによろしく」など、日本語ではさまざまな場面で同じ言葉が使われ、場面によって意味・ニュアンスが変わります。英語では「Nice to meet you」「Say hello to Mr. Tanaka for me」など、場面によって、使うフレーズが変わります。私は世界中にはさまざまな言語があり、それぞれの言語に独特な言い回しがありますが、伝えたいという想いがあれば、伝えられない言葉なんてないと思います。

(笠間市国際交流員 ジョーダン)



10秒で分かる?!
英語表現

Break a leg

ブレイク・ア・レッグ
(がんばって・成功/幸運を祈る)

この表現を直訳すると「脚を折れ」となりますが、実際は「がんばってください」という意味です! 語源は諸説ありますが、一説によると、舞台関係者の間で出演者に「Good luck!」(幸運を祈るよ!)と言うと、逆に「bad luck」を招いてしまうという迷信があり、「Break a leg!」と言うようになったと考えられています。



平成28年度かさま国際シンポジウム

笠間市国際交流員 (CIR: Coordinator for International Relations)

JETプログラム(語学指導を行う外国語青年招致事業)で派遣され、英語教育と市の国際化に関わる活動に取り組んでいます。